



# 世界的な脅威 増え続ける糖尿病

**糖尿病・内分泌内科 部長**

**高橋 典男**

**医学博士**

**日本内科学会指導医**

**日本糖尿病学会研修指導医**

**日本内分泌学会内分泌代謝科指導医**





## 内容のまとめ

- 2015年の糖尿病有病者数は4億1,500万人です。
- 11月14日は世界糖尿病デー（国連の公式の日）です。  
シンボルは「ブルーサークル」です。
- 世界中で糖尿病患者が急増しています。  
2013年 糖尿病患者 およそ3億8,200万人（100人に8.35人）  
2035年 糖尿病患者 およそ5億9,200万人（100人に10.1人）  
22年間で55%も糖尿病患者が爆発的に増えることとなります。  
特に発展途上国アフリカ、東南アジアで激増すると予想されています。



## 内容のまとめ（続き）

- 途上国での糖尿病増加の主な原因は以下の通りです。
  - ・急速な都市化（デスクワークの増加による運動不足など）
  - ・食生活の変化による肥満の増加
  - ・インスリン等の薬の不足
  - ・糖尿病発見の遅れ、治療の遅れ
- 糖尿病関連の医療費 約81兆円（6,730億ドル）  
2040年の糖尿病関連の医療費の予測 約96兆円（8,020億ドル）  
2015年度の日本の一般会計予算 96.3兆円  
日本の国家予算に匹敵する莫大な医療費が、全世界で糖尿病との戦いに費やされています。
- 爆発的に増え続けている糖尿病にどう向かい合うかは、人類の深刻な宿題の1つです。



## 糖尿病はなぜ治療しなければならないのか？

### 細小血管症

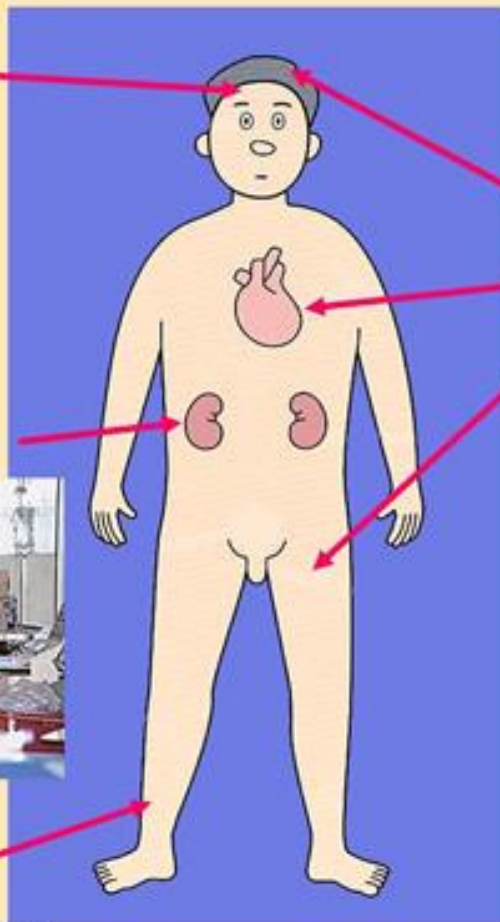
糖尿病網膜症



糖尿病性腎症・人工透析



糖尿病性神経障害・壊疽



### 糖尿病の合併症

#### 大血管症

- 脳梗塞
- 心筋梗塞
- 閉塞性動脈硬化症



糖尿病は進行すると様々な**血管の病気**を引き起こします。症状がないうちからきちんと治療をして、血管合併症を予防しましょう。



**2015年の糖尿病有病者数は  
4億1,500万人**

**国際糖尿病連合 (IDF)  
「糖尿病アトラス 第7版 2015」  
(Diabetes Atlas 2015)**



## 世界糖尿病デー（11月14日）

糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、世界規模で糖尿病に対する注意を喚起しようと、国際糖尿病連合（IDF）と世界保健機関（WHO）によって1991年に開始され、2006年に国連の公式の日になった。

シンボルは「ブルーサークル」



11月14日は、1921年にインスリンを発見したフレデリック バンティングの誕生日にあたる。



## 世界中で糖尿病患者が急増

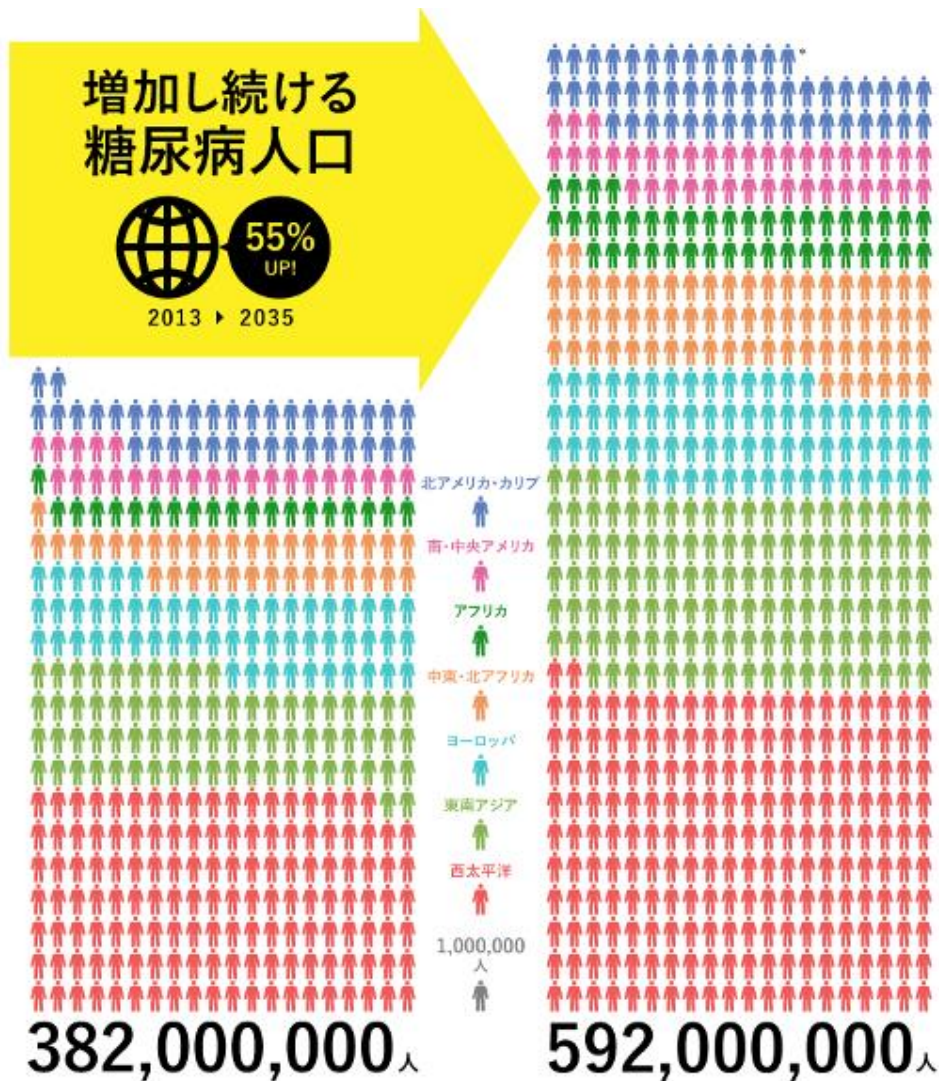
**2013年 糖尿病患者 およそ3億8200万人  
(100人に8.35人)**



**2035年 糖尿病患者 およそ5億9200万人  
(100人に10.1人)**



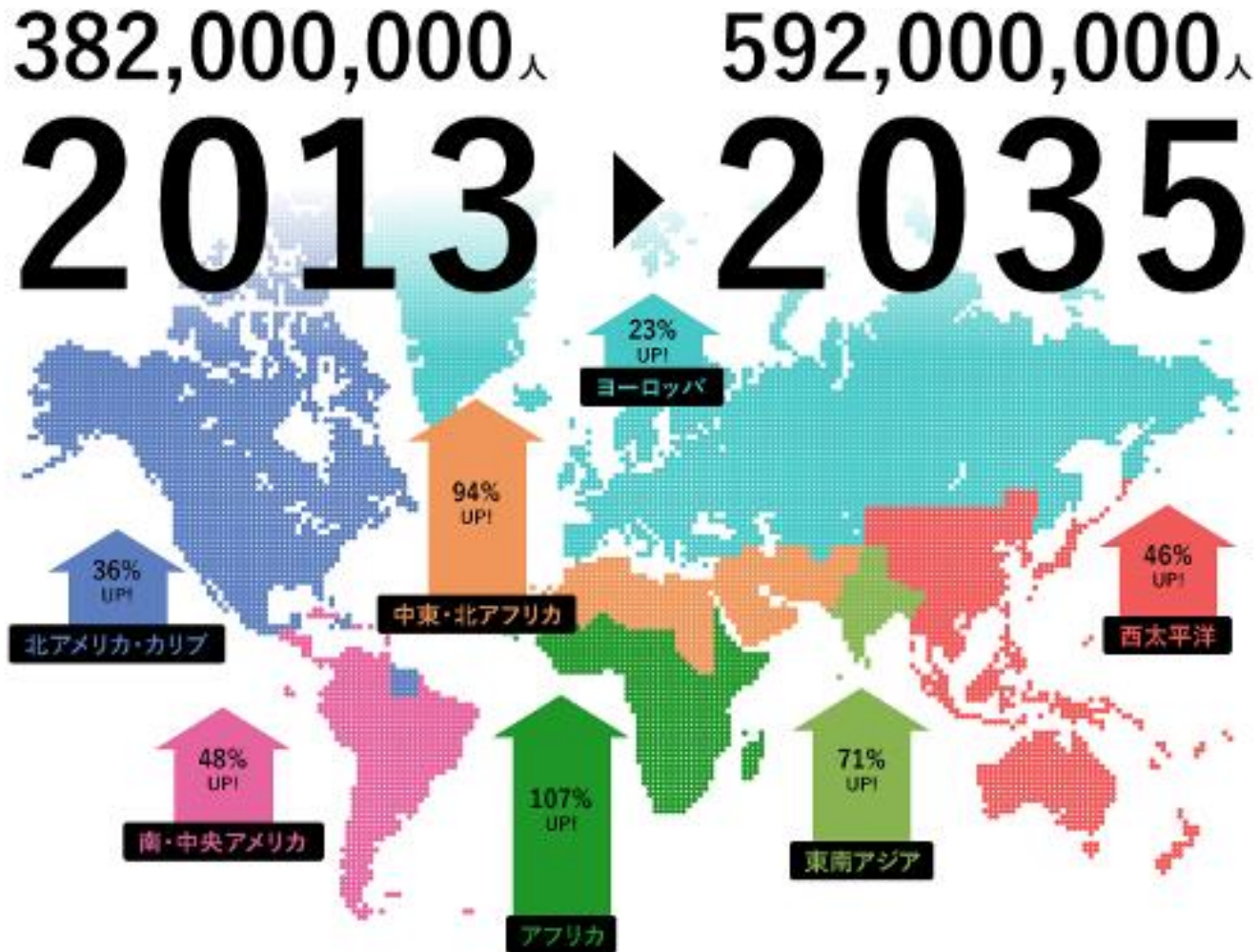
## 22年間で55%も糖尿病患者が爆発的に増える







## 発展途上国アフリカ、東南アジアで激増





## 途上国での糖尿病増加の主な原因

- ・急速な都市化  
(デスクワークの増加による運動不足など)
- ・食生活の変化による肥満の増加
- ・インスリン等の薬の不足
- ・糖尿病発見の遅れ、治療の遅れ



**糖尿病関連の医療費  
約81兆円（6,730億ドル）**

**2040年の糖尿病関連の医療費の予測  
約96兆円（8,020億ドル）**

**2015年度の日本の一般会計予算  
96.3兆円**



## 最後に

**爆発的に増え続けている糖尿病に**

**どう向かい合うかは、**

**人類の深刻な宿題の1つです。**

